



岡山大学

# Matching Program course 2015



岡山大学  
マッチングプログラムコース

OKAYAMA UNIVERSITY Matching Program Course

# MP コースの よいところ!



## 上田 均

マッチングプログラムコース 教育部長

皆さんは、どんな目的で大学に入学するのでしょうか。皆さんの多くは、それぞれの学部等で、自分の将来の職業のため、知識や考え方を学ぶことを目的としていると思います。しかし、既存の学部・学科・コースなどでは、自分の学びたいことを十分学べないと考えている人もいます。岡山大学マッチングプログラムコース（MP コース）は、自分の現在の興味や将来の目的のため、教員の助言を受けながら学部や学科の枠にとらわれずに自分自身にあった履修プログラムを作成して学ぶことができるユニークなコースです。また、MP コースでは、現代社会で重要視されている英語力も含めたコミュニケーション能力、さらに自ら考えだす能力を養うことにも重点を置いており、その中で一人ひとりの個性や能力を一層伸ばすことを目指しています。そして、これらの教育過程により、現代ますます多様で複雑になりつつある社会の要請に応えられるような人材を育成しています。

この MP コースは2006年度にスタートした新しいコースで、卒業しているのは5期生までですが、その卒業生は、さらに専門性を深めるために大学院に進学したり、社会に出て活躍しています。また、これまでの就職希望者は昨今の不況下でありながら就職活動を有利に進め、多くの学生が早い段階で希望の企業への内定を得て就職することができています。これは MP コースで学ぶことができる広い視野にたった専門性ととも、コース独自の教育の中で培われるコミュニケーション能力、チャレンジ精神、独立心、さらには創造性などが高く評価されたためと思われる。一方、卒業後は大学院へ進学し、さらに専門性の高い教育をうけている学生も多数います。

好奇心にあふれた人、考えることが好きな人、他人と少し違うことがしてみたい人、学部の枠を越えてさまざまな分野のことを学びたい人、色々な分野に興味があり志望分野を決めかねている人は、ぜひ MP コースの入学試験に挑戦してください。MP コースの入試は、単に知識を持っているかだけではなく、知識を生かすことができる能力を持っているか、MP コースの目指す教育を受ける能力・資質を持っているかをみます。2日間ある入試は少しハードかもしれませんが、多くの受験生が楽しかったという感想を寄せてくれており、いい経験にもなると思います。

# What is MP?

マッチングプログラムコース（MP コース）は、幅広い分野に興味を持ち、自分で考える力を育ててきた生徒を受け入れ、先進科学分野・国際連携分野などで活躍する人材を育成するため、岡山大学における戦略的構想の下に生まれた新しい教育コースです。様々な分野に興味を持ち、意欲のある学生を育てるためには、入学時や就学時に起こるミスマッチを解消し、目的指向力を高めることが何よりも重要です。学生が担任やアカデミック・アドバイザーの指導の下で、将来の目標に対するマッチングを図ることにより、学生の目的指向力を高め、国際社会で役に立つ英語や課題探求型授業などの先進的教育プログラムを実践しています。卒業研究も、学生各自の目標・目的に合った学部・学科（理学部、農学部、教育学部など）を選び、これらの学部教員の指導のもとで行うことができます。

MP コースで学ぶことにより、現代社会で求められている応用力や積極性を鍛え、課題解決能力を培うことができます。特色のある授業内容と整った学習環境の中で、物事を一方向からだけ見るのではなく、多方面から考え、新たな発見をする感性を養うことができます。

進路としては、それぞれの専門領域に関連した分野、すなわち研究、教育、スポーツ関連、生涯教育、福祉、介護、国際関係、情報関連などが考えられます。また、卒業研究に関連した岡山大学の大学院はもちろん、外国を含めた大学の大学院への進学の道も大きく開かれています。

MP コースでは一人ひとりの興味関心に応じた将来設計を行う教育プログラムを自ら組み立てられることが大きな特徴です。



## CONTENTS

MP コースの特徴／MP 独自の授業等……………2-5

キャンパスライフ……………6-7

English Camp／語学研修……………8

副専攻コース／秋入学……………9

卒業研究／就職状況／卒業生からのメッセージ……………10

募集要項／3つのポリシー……………11

## 学部横断カリキュラム &MP独自の授業

MPコースの授業は基本的に約16人という少人数で行われます。また、授業内容は様々な学部や外部からの先生方を招き講義を受けたり、議題に対してプレゼンテーションや討論を行ったりと従来の「知識伝授型」の授業ではなく、学生が主体的に発言する授業が多いため、課題発見・解決、発想力、表現力が身につきます。

MPコースの最も大きな特徴は学部横断型の授業が受けられるという点です。一人ひとりの興味関心に応じた将来設計のため学部や学科の枠にとらわれず、自分に最も適した履修プログラムを自ら作成して学ぶことができます。そのため、履修プログラムは学生一人ずつ異なり誰一人として同じ時間割ではありません。学部横断型の授業の履修は学生それぞれの将来の目標に対するマッチングをはかることができるのです。

### MPコース独自の授業（一例）

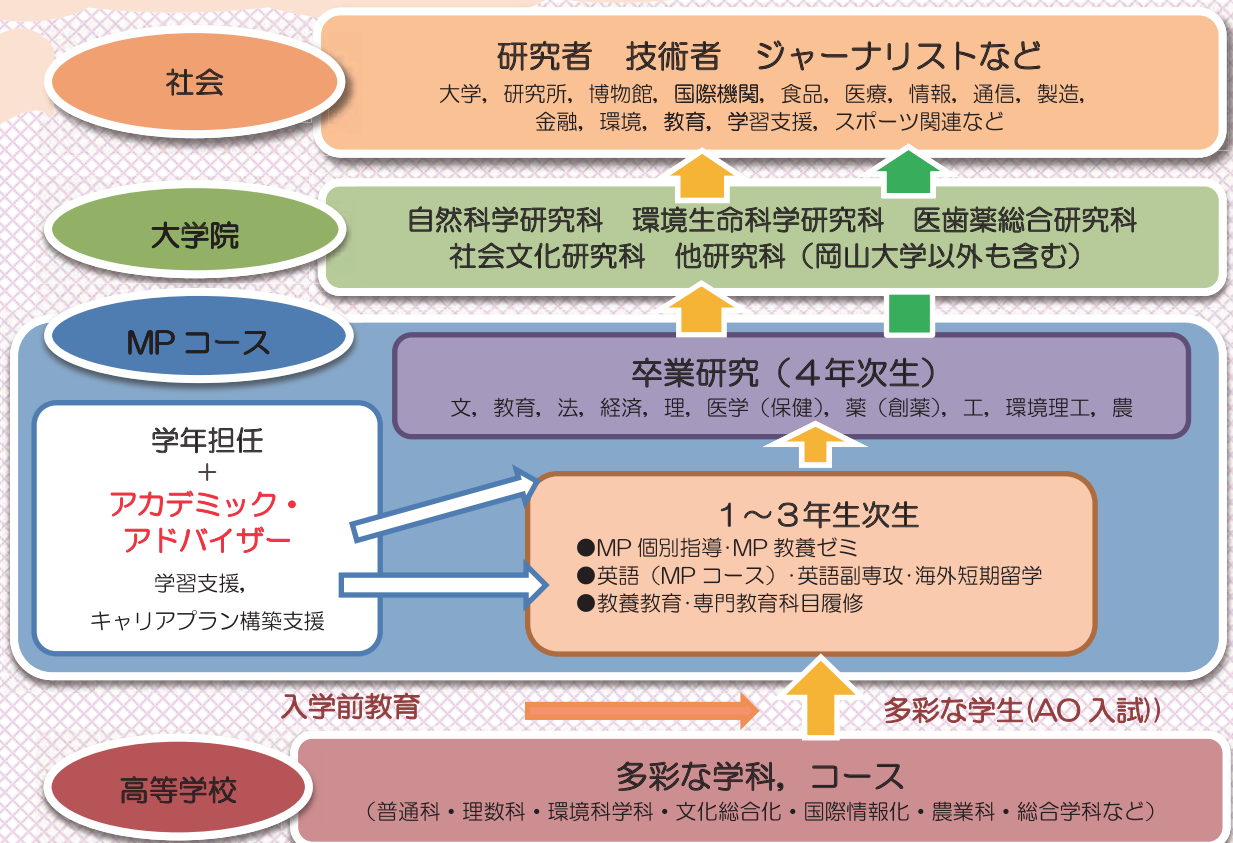
#### ・MP教養ゼミ

他学部や外部の先生から講義を受け、その議題についてプレゼンテーションや討論を行います。

#### ・英語（MPコース）

発音などの実践的な英語力を伸ばし国際的に活躍できるための準備をします。

## MPコースの特徴



# アカデミック アドバイザー

## ひとこと

個別指導の内容は学生によって異なります。私の場合、生物学を学ぶと同時に英語力をつけていきたいと考えている為、英文のサイエンスレポートを読んでいます。読み進めていくなかで、その研究内容や題材に関わりの深い話題などを先生が紹介して下さるので、新たな知識を得ることができ、更に興味も深まります。また、先生方との距離が近く、履修や資格取得などの些細なことでも相談しやすい環境にあります。この恵まれた環境を最大限活かし、自らの理想に近付きたいと思います。

3年生 高瀬 悠



MPコースに入学すると、各学生の興味分野を専門としている各学部の教員がアカデミックアドバイザー（以下A.A）としてつきます。MPコース生の時間割には「MP個別指導」が含まれており、週一回A.Aからマンツーマンの指導が受けられます。その内容は進路に向けての履修指導や学業の進行状況の報告、論文の読み合わせを行うなど多岐にわたり、大学生生活をサポートします。



3年生のMPルーム



1年生のMPルーム

MPルームは学生のための教室で1から3学年に各1部屋あります。MPコース独自科目の授業が行われるほか、空いている時間には自習室として利用できます。MPルームには、パソコンやインターネット、プレゼンテーション用設備（プロジェクター、ホワイトボードほか）、英語学習教材などが備えられており、MPコースの学生はこれらを自由に使うことができます。

# MPルーム

## ひとこと

空きコマや自主学習をしたい時など、自由に使える空間がMPルームです。それぞれが違った興味・関心を持っているMPの仲間と情報交換したり、雑談したりすることによって、新たな分野への興味や多方面への考え方を広げることができます。また、上級生の教室が隣り合っており、授業や履修の相談をすることもできます。気軽に立ち寄れて、時間をたいへん有意義に過ごせる場所で、きっと学生生活において必要不可欠になる場所だと思います。

2年生 吉田 舞子

# キャンパスライフ

1年

井上 陸

兵庫県立舞子高等学校出身



僕は高校の頃、環境防災科という学科で3年間災害や防災について勉強してきました。

そして、地震のメカニズムや災害に強いまちづくりについてより専門的に学びたいと思い、学部を横断して学習できるMPコースを選びました。理学部の地球科学科を中心に環境理工学部の授業も学習していきたいと考えています。また、高校の時から英語が好きで国際交流に力を入れていたので、英語教育に力を入れているMPコースで勉強し、留学にも挑戦していきたいと考えています。

	月	火	水	木	金
1	キャリア形成 〈基礎講座〉I 一般教養		健康・スポーツ科学 一般教養		中国語初級 I (読本) 一般教養
2		自然科学入門 (MPコース) MP	英語(MPコース I) MP	生活の中の微生物 一般教養	
3	情報処理入門 環境理工学部	中国語初級 I (文法) 一般教養	MP個別指導 MP		
4	するスポーツ 一般教養	現代地球科学 I 理学部		MP教養ゼミ (コミュニケーション) MP	総合英語4 一般教養
5		総合英語3 一般教養			

2年

白神 初音

岡山県立総社高等学校出身

私は今、農学部と環境理工学部の授業をとっています。1回生のころは、この2つの学部に加えて理学部の授業もとっていました。私は、主に理系の学部をメインとして履修を組んでいますが、文系学部や理系学部など多くの学部の授業をとっている友達もいます。MPのいいところは、やりたい学部の授業以外にも気になれば、ほぼどの学部の授業もとることができることです。大学に進学したあとに様々な学部の授業を見ることが出来ます。自分がどこの学部に進むか悩んだり、複数の学部で悩んでいる人には特に良いと思います。



	月	火	水	木	金
1	情報化と職業倫理 理学部	基礎地形情報学 環境理工学部			植物生理学 農学部
2	統計学 I 環境理工学部	環境管理数学 環境理工学部	農業生物学 農学部	農産物生理学 農学部	地域景観論 環境理工学部
3		基礎地形情報学実習 環境理工学部		MP個別指導 MP	植物病理学 農学部
4	総合英語5 一般教養	↓			植物形態学 農学部
5	技術者倫理 環境理工学部	↓	英語(MPコース II) MP		



2年

## 中嶋 弘樹

岡山県・金光学園高等学校出身

私は、高校の頃から文系だったので大学に入ってから履修している授業は文系学部のものが多いです。経営や心理学に興味があるので、それに関係する授業を多く履修しています。それだけでなく、理系学部の授業を履修できること、並行して教員免許を取るための授業を履修できるのもMPコースの利点です。

	月	火	水	木	金
1	情報化と職業倫理 理学部				
2		心理学概説1 文学部	社会学概説1 文学部	教育の社会と制度5 教育学部	
3	社会学概説2 文学部	日本国憲法 教育学部	MP個別指導2 MP	リーダーシップ論 経済学部	
4	総合英語5 一般教養		教職論4 教育学部		
5	芸術学概説1 文学部	総合英語5 一般教養	英語(MPコースⅡ) MP	日本企業論Ⅰ 経済学部	

3年

## 三村 香菜子

岡山県立岡山城東高等学校出身



私は、『まちづくり』をやりたいと思って経済学部と環境理工学部で勉強しています。経済学部では、まちのお金の循環の仕組みや活性化の方法を、環境理工学部では、まちの景観(まち全体の見た目・風景)の効果を学んでいます。

経済学部では2年生からゼミ(理系学部という研究室での研究)が始まります。他学部生と同じように勉強するだけでなく、私なりに多角的に分析できるのでとても楽しいです。

上級英語を3年生で履修しているのは、英語の勉強を継続するためです。英語は一生使うものだと思います。ただの語学勉強ではなく、ツールのひとつとして実用的にしたいです。

	月	火	水	木	金
1			現代ファイナンスⅠ 経済学部		社会経済学 経済学部
2	経営戦略論Ⅰ 経済学部	地方財政論Ⅰ 経済学部		日本経済論 経済学部	地域景観論 環境理工学部
3		ミクロ経済学Ⅰ 経済学部	上級英語 一般教養	景観論Ⅰ 環境理工学部	経済経営特殊講義 経済学部
4	ゼミ 経済学部	MP個別指導 MP			
5	ゼミ 経済学部		MP教養ゼミ (倫理・哲学) MP	日本企業論Ⅰ 経済学部	

# English Camp

英語だけの数日間  
英語をもっと身近に。

毎年恒例となっている英語合宿。いろんな国の留学生と英語を使って、BBQやゲームなどの活動を通してコミュニケーションを図ります。自分の英語がどの程度ネイティブに通用するのか、どのように伝えるとわかりやすいのかを直に知ることのできる機会になり目的意識をもった英語学習につながります。各国からの留学生を迎えるため他国の文化を学ぶことにもなり普段の大学での講義とは一味違った経験ができること間違いなしです。



2年

田中 真岐



# 語学研修

In Australia

岡山大学には、オーストラリアのアデレードに5週間ホームステイできる語学研修があります。MPコースでは一定以上のTOEICスコアを取得することで、この語学研修の参加費を補助してもらえます。私は、この制度を利用して春休みを使ってアデレードに行ってきました。

現地では、アデレード大学で他国の留学生とプレゼンテーションやディスカッションなどで英語の学習をしました。休日には、国籍関係なく現地で知り合った友達と、ご飯を食べに行ったり、ビーチに遊びに行ったりしました。ホストファミリーとも一緒に食事の用意をしたり、動物園に連れて行ってもらったりしました。

アデレードで過ごせた日々は、本当に幸せで、一生忘れることのない宝物です。



## フロンティア サイエンティスト コース

3年

田中 直人

私は物理や地球科学などに興味があり、大学ではそれらを総合的に学びたいと思い MP コースに入りました。そして理学部で授業を受けたり、ゼミに参加したりしているうちに FS コースに出会いました。

FS コースは理学部に設置されている副専攻のようなコースで、学部の授業と並行して他の分野の実験を行ったり、一足先に研究に参加したりできます。

様々な分野の科学に興味がある！という方は、MP&FS コースで自分の道を切り開いてみてはいかがでしょうか？

先端科学実習 (ハワイ)  
マウナケア天文台群



先端科学実習 (ハワイ)  
ハワイ大学実験所付近



## 秋入学

2年

梅津 尚樹

私は、岡山大学に国際バカロレア入試で秋入学しました。岡山大学は、6月卒業のIB 取得者向けに4月が新学期である日本の大学に速やかに入学できるようなシステムが整っていて、帰国子女が過ごしやすい環境になっています。さらに、マッチングプログラムコースに所属することにより時間割に柔軟性が生まれ、半年の遅れもそれほど気にすることなく学業に励むことが可能です。こういった充実した体制の中で化学を学び、副専攻はグローバル人材コースに入っています。

また、活動も多岐にわたり充実しています。JICA 大学生国際協力フィールドスタディプログラムに参加しベトナムに3週間ほどの研修、理学部のフロンティアサイエンティストコースの一環であるハワイ実習への参加、OECD Student Ambassador に任命され、学生団体の設立や講演会の開催なども行っています。



ベトナム研修  
(カトウ族)



OECD シンポジウム  
でのプレゼン



## 卒業研究

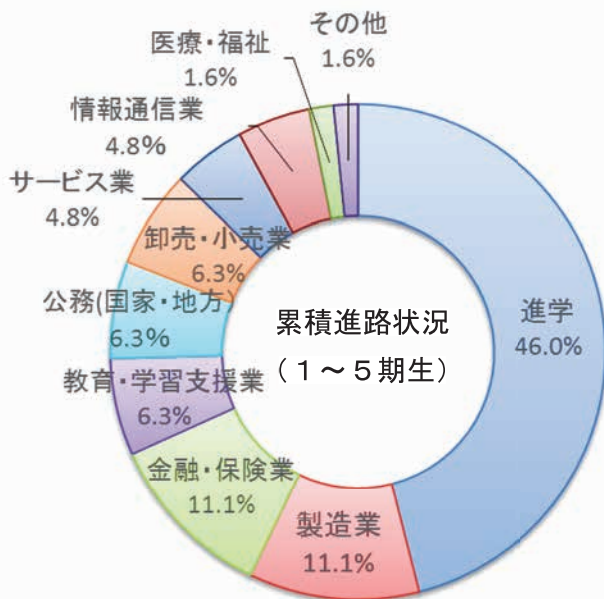
MPコースの学生が行う卒業研究は、目的に合った学部・学科を選び、これらの学部教員の指導のもとで行います。  
**課題研究をおこなった学部別人数（MP第1期生～第5期生）**

	H21年度 1期生	H22年度 2期生	H23年度 3期生	H24年度 4期生	H25年度 5期生	計
文学部	0	0	0	2	1	3
教育学部	0	1	3	1	3	8
法学部	0	0	1	0	1	2
経済学部	0	1	0	1	1	3
理学部	7	14	6	2	1	30
医学部	0	0	0	0	0	0
歯学部	0	0	0	0	0	0
薬学部	0	0	1	0	0	1
工学部	1	0	1	2	0	4
環境理工学部	0	0	1	0	0	1
農学部	4	0	0	4	5	13
スポーツ教育センター等	1	0	0	0	2	3
<b>計</b>	<b>13</b>	<b>16</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>14</b>	<b>68</b>

主な卒業論文テーマ(平成 25 年度)

- ・ヒノキ人工林における間伐方法の違いが表土および養分流出におよぼす影響(農学部)
- ・大学生における外傷体験を通じた自己成長を導く心理的特性の考察(教育学部)
- ・ミャンマー民主化を巡る政治力学—ASEANの建設的関与を中心に—(経済学部)
- ・競泳競技における日本とアメリカの競技力の差の発生要因について(スポーツ教育センター) など

## 就職・進路状況



### 主な就職先

- ・伊予銀行 ・マイナビ ・ベネッセコーポレーション
- ・協和発酵キリン ・東洋産業 ・国立印刷局
- ・三井住友銀行 ・富士通 ・横浜市役所
- ・みずほファイナンシャル ・日本政策金融公庫
- ・東京国税局 ・美作大学 ・鳥取市立国府中学校

## Voice

### —卒業生の声—

草苺 幸

日本政策金融公庫 中小企業事業部

MPコース第5期生（平成25年度卒業）



「岡山大学のMPコースで学べたことを、私は誇りに思っています。」  
 これは今勤めている会社の最終面接で、良い大学生活でしたかと問われた際に自然と口から出た言葉です。

日本には数え切れないほど大学があります。しかし、今振り返ってみても、その中のどこで学んだ人よりも濃密で充実した学生生活だったと胸を張って言えます。

自分でシラバスを組み、卒業まで目的意識を持って学び続ける事は容易ではありません。しかし、そのもがき苦しんだ経験は就職活動に限らず、これからの人生においても大いにプラスになるはずです。そして、そうして得た確固たる軸と変化に対応できる柔軟性があれば、何も怖いものはありません。

## 募集要項



### ◎AO入試

- 募集人数 16名
- 出願資格 選抜要項・募集要項または岡山大学ホームページを参照してください。
- 選抜方法

#### ●第1次選抜

- 出願書類（調査書・自己推薦）による書類選考を行う。
  - 第1次選抜の合格者は、原則として、募集人員の3倍程度とする。
  - 志願数が募集人員に対する予告倍率（3倍）を超えた場合は、第1次（書類）選抜を行い、その合格者についてのみ第2次選抜を行う。
- 志願者調査書の評点は数学・英語・国語を重視する。自己推薦書の内容は自己アピール及び活動記録である。その他の活動実績（生徒会活動・スポーツ活動など）も評価する。

#### ●第2次選抜

##### 第1日

- 講義に関するレポート 400点  
(英語に関する課題が一部含まれることがあります)  
講義を受講し、与えられた課題（問題）に対してレポートを作成する。  
講義時間とレポート作成時間を合わせて120分、これを2回行う。

##### 第2日

- (1) 小論文 300点  
数学・物理・化学・生物・地学・保健体育の6題から1題を選択し、小論文及びポスターを180分で作成する。
- (2) 発表及びグループ討論 200点  
選択した問題に応じて6人程度のグループに分かれ、発表（一人6分程度）及び討論（40分程度）を行う。
- (3) 個人面接 100点  
各個人に対し、20～25分の面接を行う。

※詳細は、募集要項またはMPコースホームページを参照してください。

### ◎国際バカロレア入試

- 国際バカロレア入試については、募集要項または岡山大学のホームページを参照してください。

## 3つのポリシー

### 【ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー】

岡山大学ホームページの以下URLをご覧ください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/undergraduate.html>

### 【マッチングプログラムコースアドミッションポリシー】

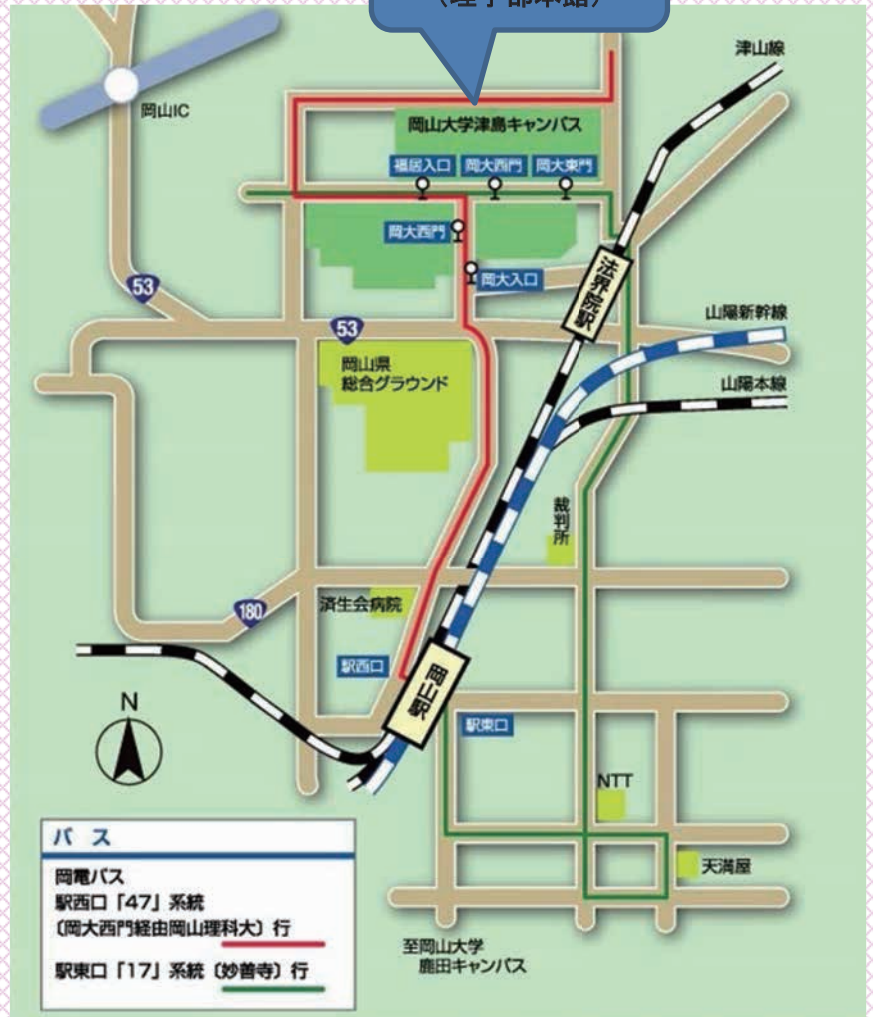
#### 《AO入試 マッチングプログラムコース (MP)》

本コースでは、広い視野から自分で考える力を育んできた人を受け入れ、その個性、能力を一層伸ばすことを目指しています。

そのため、以下の資質を持った者を選抜します。

1. 旺盛な好奇心、探究心を持ち、自主的に課題を立案する意欲を持っている人
2. 基礎的な教養修得に励み、豊かな想像力・創造力により、多方面に開かれた視野を持っている人
3. 国際交流に必要な表現力、コミュニケーション能力（英語）の習得と、世界に向けて活躍する意欲を持っている人

MPコース  
(理学部本館)



JR 岡山駅東口から岡電バス  
「岡山大学・妙善寺」行→ 「岡大西門」

JR 岡山駅西口から岡電バス  
「岡山理科大学」行→ 「岡大西門」

JR 津山線「法界院」駅→ 徒歩 10分

このパンフレットは毎年、MPの学生が主体となりデザインや編集を行っています。  
たくさんのご協力のもとに本誌が出来上がりました。ご協力頂いたすべての皆様に心より  
感謝致します。そして、この本誌を手にとってくださった皆様のお力添えになれば幸いです。  
ご覧くださり、ありがとうございました。

統括：秋山美成・田中真岐・吉田舞子

岡山大学マッチングプログラムコース  
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 理学部本館  
TEL:086-251-7763 FAX:086-251-7777  
<http://www.mpc.okayama-u.ac.jp/>